

## 2021年2月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2020年7月10日

上場取引所 東 福

上場会社名 株式会社 安川電機

コード番号 6506 URL <https://www.yaskawa.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小笠原 浩

問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR部長 (氏名) 林田 歩 TEL 03-5402-4564

四半期報告書提出予定日 2020年7月13日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2021年2月期第1四半期の連結業績（2020年3月1日～2020年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第1四半期	90,802	△15.5	6,227	△21.6	5,896	△21.4	4,577	△17.4
2020年2月期第1四半期	107,443	—	7,946	—	7,499	—	5,540	—

	親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額		基本的1株当たり 四半期利益		希薄化後1株当たり 四半期利益	
	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期第1四半期	4,519	△16.7	△180	—	17.29		17.28	
2020年2月期第1四半期	5,426	—	△1,652	—	20.62		20.61	

(2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に 帰属する持分		親会社所有者 帰属持分比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第1四半期	451,778		223,888		221,176	49.0		
2020年2月期	450,127		231,167		228,362	50.7		

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期	—	26.00	—	26.00	52.00
2021年2月期	—	—	—	—	—
2021年2月期（予想）	—	12.00	—	—	—

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

2021年2月期の期末の配当については未定です。配当予想額の公表が可能となった時点で速やかに開示する予定です。

### 3. 2021年2月期第2四半期の連結業績予想（2020年3月1日～2020年8月31日）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
第2四半期（累計）	180,802	—	10,727	—	8,019	—

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

当社は、2020年5月28日提出の有価証券報告書から国際財務報告基準（IFRS）を任意適用しております。2021年2月期第2四半期の連結業績予想はIFRSに基づき作成しております。このため、日本基準を適用していた2020年2月期第2四半期の実績値に対する増減率は記載しておりません。

決算に関する詳細情報として、当社ウェブサイト（<https://www.yaskawa.co.jp>）に本日公表の決算補足説明資料を掲載しております。併せてご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年2月期1Q	266,690,497株	2020年2月期	266,690,497株
② 期末自己株式数	2021年2月期1Q	5,315,110株	2020年2月期	5,314,950株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年2月期1Q	261,375,464株	2020年2月期1Q	263,173,184株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、四半期決算短信（添付資料）4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・当社は、2020年7月10日（金）に証券アナリスト・機関投資家向け決算電話説明会を開催する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 要約四半期連結財務諸表および主な注記 .....	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	5
(2) 要約四半期連結損益計算書および要約四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	9
(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは2020年5月28日提出の有価証券報告書より、会計基準の統一による経営管理の高度化および資本市場における財務情報の国際的な比較可能性向上を目的として、国際財務報告基準（IFRS）を任意適用しております。また、2020年度より全社費用の配賦方法の変更なども行っています。

これにより前年同期の数値は、これらの変更影響を加味した上で算出しています。

①2021年2月期第1四半期（2020年3月1日～2020年5月31日）の経営成績

当第1四半期における当社グループの経営環境は、世界的な新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、グローバルで設備投資に慎重な姿勢が強まりました。その一方で、中国においては製造業全般で生産活動の正常化が進んだことに加え、ニューインフラ関連などへの投資が積極的に行われました。

このような環境において当社グループの業績は、前年同期に対しロボット事業を中心に売上収益が減少しました。営業利益は、売上が落ち込んだ影響などにより減少しましたが、収益性は経費の抑制などにより前年同期に対し横ばいで推移しました。

なお、当期における当社グループの地域別の経営環境は以下のとおりです。

- 日 本： 情報インフラ投資の増加により、半導体・電子部品向けなどで設備投資が底堅く推移した一方、自動車市場など多くの市場で需要は伸び悩みました。
- 米 国： 半導体市場で設備投資を継続する動きもみられましたが、自動車市場を中心に総じて需要は低迷しました。
- 欧 州： 自動車をはじめ市場全般で需要は低調に推移しました。
- 中 国： 製造業全般で生産活動の正常化が進んだことに加え、次世代通信規格「5G」関連などへの投資が積極的に行われました。一方で、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により外需が伸び悩みました。

中国除くアジア：韓国を中心に半導体や電子部品などの市場で設備投資が底堅く推移したものの、製造業全般で需要は伸び悩みました。

この結果、当期の経営成績は以下のとおりです。

	2020年2月期 第1四半期連結累計期間	2021年2月期 第1四半期連結累計期間	前年同期比
売 上 収 益	1,074億43百万円	908億 2百万円	△15.5%
営 業 利 益	79億46百万円	62億27百万円	△21.6%
親会社の所有者に帰属する 四 半 期 利 益	54億26百万円	45億19百万円	△16.7%
米 ド ル 平 均 レ ー ト	110.96円	107.63円	△3.33円
ユ ー ロ 平 均 レ ー ト	124.73円	117.87円	△6.86円
中 国 人 民 元 平 均 レ ー ト	16.38円	15.21円	△1.17円
韓 国 ウ ォ ン 平 均 レ ー ト	0.096円	0.088円	△0.008円

②セグメント別の状況

当社グループでは、事業内容を4つのセグメントに分けています。

当期の各セグメントの経営成績は以下のとおりです。

モーションコントロール	売上収益	442億30百万円	(前年同期比 △8.4%)
	営業利益	65億79百万円	(前年同期比 +5.4%)
<p>モーションコントロールセグメントは、ACサーボモータ・コントローラ事業とインバータ事業で構成されています。</p> <p>ACサーボモータ・コントローラ事業における中国の売上が増加した一方、インバータ事業での米国の販売が落ち込みました。セグメント全体では、グローバルで新型コロナウイルスの影響を受け前年同期比で減収となりましたが、経費の抑制などにより営業利益は増加しました。</p> <p>[ACサーボモータ・コントローラ事業]</p> <p>中国では5G関連需要の増加を背景とした電子部品向け・金属加工機向けなどの売上が伸長したことに加え、その他の地域において半導体関連の需要が増加するなど、売上は堅調に推移しました。営業利益については、中国の売上回復や経費の抑制などにより前年同期比で増加しました。</p> <p>[インバータ事業]</p> <p>国内での販売が底堅く推移したものの、米国におけるオイル・ガス関連需要が大きく落ち込むなど、前年同期比で売上収益は減少し、営業利益も伸び悩みました。</p>			
ロボット	売上収益	292億68百万円	(前年同期比 △25.2%)
	営業利益	2億60百万円	(前年同期比 △87.0%)
<p>溶接・塗装ロボットなど自動車関連においては、欧米を中心にグローバルで設備投資が抑制されたことに加え、お客さまの工場の稼働停止による影響を受け、売上が低迷しました。</p> <p>一般産業分野向けでは、中国3C市場で5G関連需要を背景とした生産設備の自動化投資に回復の兆しがみられたものの、新型コロナウイルスの影響を受け、売上は伸び悩みました。</p> <p>一方で、半導体ウエハ搬送用ロボットの販売は国内や韓国などで好調に推移しました。</p> <p>セグメント全体の営業利益は売上が落ち込んだ影響などにより前年同期から減少しました。</p>			
システムエンジニアリング	売上収益	119億73百万円	(前年同期比 △16.1%)
	営業利益	88百万円	(前年同期比 +37.0%)
<p>システムエンジニアリングセグメントは、環境・社会システム事業と、子会社である安川オートメーション・ドライブ株式会社が扱う産業用オートメーションドライブ事業で構成されています。</p> <p>セグメント全体の売上収益は国内を中心に減少したものの、営業利益は構造改革や新製品の市場投入効果などで増加しました。</p> <p>[環境・社会システム事業]</p> <p>太陽光発電用パワーコンディショナの販売は新製品の市場投入効果などにより伸長した一方、大型風力発電用電機品や上下水道用電気システム関連の売上が新型コロナウイルスの影響などで減少しました。</p> <p>[産業用オートメーションドライブ事業]</p> <p>鉄鋼プラント関連の売上が伸び悩んだものの、港湾クレーン向けの販売などは堅調に推移しました。</p>			
その他	売上収益	53億30百万円	(前年同期比 △7.2%)
	営業利益	△71百万円	(前年同期比 1億19百万円悪化)
<p>その他セグメントは、物流サービス事業などで構成されています。</p> <p>前年同期に対し、売上収益は国内を中心に減少し、営業利益は悪化しました。</p>			

## (2) 財政状態に関する説明

①資産 4,517億78百万円(前連結会計年度末比 16億51百万円増加)

営業債権やその他の流動資産が減少した一方、現金及び現金同等物やたな卸資産等の増加により、流動資産が前連結会計年度末に比べ32億93百万円増加しました。また、有形固定資産の減少等により、非流動資産が前連結会計年度末に比べ16億42百万円減少しました。

②負債 2,278億90百万円(前連結会計年度末比 89億30百万円増加)

短期借入金やその他の流動負債の増加等により、流動負債は前連結会計年度末に比べ119億13百万円増加しました。一方、長期借入金の減少等により、非流動負債は前連結会計年度末に比べ29億83百万円減少しました。

③資本 2,238億88百万円(前連結会計年度末比 72億79百万円減少)

利益剰余金が減少したことに加え、在外営業活動体の換算差額の減少等によりその他の資本の構成要素が減少しました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年2月期第2四半期(2020年3月1日～2020年8月31日)の連結業績予想は、新型コロナウイルスの感染拡大ならびに米中貿易摩擦の再燃による影響を受け以下のとおりといたします。なお、通期連結業績予想については、上記の理由によりグローバルでお客様の設備投資の動向が不透明であり、通期業績を見通すことが困難な状況にありますので公表を見送ります。

	2021年2月期第2四半期 連結業績予想
売上収益	180,802百万円
営業利益	10,727百万円
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	8,019百万円

2020年6月1日から2020年8月31日までの期間における平均為替レートは、107.0円/米ドル、118.0円/ユーロ、15.20円/元、0.088円/ウォンを想定しております。

本資料に記載されている連結業績予想などの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などは様々な要因により異なる可能性があります。

2. 要約四半期連結財務諸表および主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	40,307	49,514
営業債権	117,886	111,556
たな卸資産	101,975	106,797
その他の金融資産	1,656	2,048
その他の流動資産	19,383	14,587
流動資産合計	281,208	284,502
非流動資産		
有形固定資産	80,355	78,808
のれん	6,402	6,398
無形資産	18,497	18,027
使用権資産	10,910	10,686
持分法で会計処理されている投資	8,079	8,919
その他の金融資産	25,513	24,194
繰延税金資産	16,093	17,424
その他の非流動資産	3,066	2,816
非流動資産合計	168,918	167,276
資産合計	450,127	451,778

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務	54,730	55,601
借入金	35,595	41,364
未払法人所得税	1,033	1,883
リース負債	2,272	2,227
その他の金融負債	4,493	4,765
引当金	928	833
その他の流動負債	39,492	43,783
流動負債合計	138,545	150,459
非流動負債		
借入金	35,859	33,193
リース負債	7,852	7,685
その他の金融負債	210	167
退職給付に係る負債	30,468	30,207
繰延税金負債	703	981
引当金	1,403	1,476
その他の非流動負債	3,916	3,719
非流動負債合計	80,414	77,430
負債合計	218,960	227,890
資本		
親会社の所有者に帰属する持分		
資本金	30,562	30,562
資本剰余金	28,161	28,161
利益剰余金	194,558	191,654
自己株式	△22,109	△22,110
その他の資本の構成要素	△2,810	△7,092
親会社の所有者に帰属する持分合計	228,362	221,176
非支配持分	2,805	2,712
資本合計	231,167	223,888
負債及び資本合計	450,127	451,778



(2) 要約四半期連結損益計算書および要約四半期連結包括利益計算書  
 (要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月 1日 至 2019年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月 1日 至 2020年5月31日)
売上収益	107,443	90,802
売上原価	△73,258	△62,851
売上総利益	34,185	27,951
販売費及び一般管理費	△26,405	△22,293
その他の収益	240	600
その他の費用	△74	△30
営業利益	7,946	6,227
金融収益	323	105
金融費用	△1,019	△663
持分法による投資損益	248	227
税引前四半期利益	7,499	5,896
法人所得税費用	△1,958	△1,318
四半期利益	5,540	4,577
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	5,426	4,519
非支配持分	113	58
合計	5,540	4,577
親会社の所有者に帰属する1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	20.62	17.29
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	20.61	17.28

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月 1日 至 2019年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月 1日 至 2020年5月31日)
四半期利益	5,540	4,577
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融 資産の純変動額	△1,554	△33
確定給付制度の再測定額	375	△89
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持 分	9	△4
合計	△1,169	△127
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△6,035	△4,625
キャッシュ・フロー・ヘッジに係る公正価値の純変動 額	11	△5
合計	△6,024	△4,631
その他の包括利益合計	△7,193	△4,758
四半期包括利益合計	△1,652	△180
四半期包括利益合計の帰属		
親会社の所有者	△1,670	△87
非支配持分	18	△92
合計	△1,652	△180

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間（自 2019年3月1日 至 2019年5月31日）

（単位：百万円）

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			
2019年3月1日残高	30,562	28,213	191,692	△12,487	5,987	243,967	2,950	246,917
四半期利益	—	—	5,426	—	—	5,426	113	5,540
その他の包括利益	—	—	—	—	△7,097	△7,097	△95	△7,193
四半期包括利益合計	—	—	5,426	—	△7,097	△1,670	18	△1,652
自己株式の取得	—	—	—	△7,741	—	△7,741	—	△7,741
自己株式の処分	—	—	—	—	—	—	—	—
剰余金の配当	—	—	△6,867	—	—	△6,867	—	△6,867
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	△38	—	38	—	—	—
その他	—	—	22	—	—	22	—	22
所有者との取引額等合計	—	—	△6,884	△7,741	38	△14,587	—	△14,587
2019年5月31日残高	30,562	28,213	190,234	△20,228	△1,071	227,709	2,968	230,678

当第1四半期連結累計期間（自 2020年3月1日 至 2020年5月31日）

（単位：百万円）

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			
2020年3月1日残高	30,562	28,161	194,558	△22,109	△2,810	228,362	2,805	231,167
四半期利益	—	—	4,519	—	—	4,519	58	4,577
その他の包括利益	—	—	—	—	△4,607	△4,607	△150	△4,758
四半期包括利益合計	—	—	4,519	—	△4,607	△87	△92	△180
自己株式の取得	—	—	—	△0	—	△0	—	△0
自己株式の処分	—	△0	—	0	—	0	—	0
剰余金の配当	—	—	△6,796	—	—	△6,796	—	△6,796
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	△325	—	325	—	—	—
その他	—	—	△301	—	—	△301	—	△301
所有者との取引額等合計	—	△0	△7,423	△0	325	△7,098	—	△7,098
2020年5月31日残高	30,562	28,161	191,654	△22,110	△7,092	221,176	2,712	223,888

- (4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項  
(継続企業の前提に関する注記)  
該当事項はありません。